

虹ヶ丘新聞

第63号

ホームのようなまち
まちのようなホーム

発行/社会福祉法人与謝郡福祉会
高齢者総合福祉施設 虹ヶ丘
編集責任者/石本 晃一

住所: 京都府与謝郡与謝野町字岩屋600番地3
TEL: 0772-43-2011
E-Mail: nijigaoka@yofuku.or.jp
URL: http://yofuku.or.jp/nijigaoka/

虹ヶ丘まつりの開催



例年8月上旬に開催していましたが、虹ヶ丘夏まつりで、さすが、近年の猛暑を受け、今年は10月6日(土)に

予定を引越し、名前も「虹ヶ丘まつり」としてリニューアルした形で開催することとなりました。

実行委員会を中心に約半年間内容の協議を重ね、今回は初めて地域の皆様

にもご案内をすることができ、いつも以上に楽しんでいただけたのではないかと思います。お天気が不安定だったため、外で開催できればなお良かったのですが、その部分だけが心残りではあるものの、沢山の皆様に盛り上げていただき、大盛況のうちに終了となりました。

最後になりましたが、ステージを盛り上げていただいたボランティアの皆様、模擬店のお手伝いをいただいた皆様が、ご協力いただいた地域の皆様に紙面をお借りしまして、厚く御礼を申し上げます。本当にありがとうございます。さいませいませ。(相談員)



「長寿おめでとう」ございます

9月22日、多くのご来賓の方、ご家族に出席いただき、虹ヶ丘敬老祝賀式が開催されました。今年には百歳以上の方が2名、米寿6名の方がお祝を受

けられました。最後にお祝を受けられた皆様より一言ずついただきまして。心に染みるお言葉や、また言葉にはされずともとても良い表情を見せて下さる方、様々な形でお気持ちを表して下さいました。今後益々のご長寿をお祈りしております。また10月17日(水)には、与謝野町敬老会がわーくばるで行われ、特養から9名の方が参加されました。園児の元気なステージや小学生の素晴らしい発表を楽しみました一日となりました。(特養)



第一回オープンデー

「ようこそ虹ヶ丘へ」

デイサービスでは10月14日(日)に、ボランティアグループ「茶ぼー」とい輪や「様のご協力をいただき、岩屋地域の70歳以上の方を対象とした、「オープンデー」を開催致しました。

当日は、普段行っているデイサービスのプログラムの中から、口腔体操・屋食・レクリエーションの体験と、施設見学をして過ごしていただきました。参加された方々の、笑いあり、歓声あり、お腹もいっぱいになられ「久しぶりに大きな声で笑ったわ」「楽しかった。また参加したいです」という温かいお言葉をいただきました。

今回参加された皆様、茶ぼーとい輪の皆様、本当にありがとうございました。

第2回も計画しておりますので、ご期待ください。(デイ)



「神宮寺」く秋の遠足



ふれあいホーム
神宮寺では、10月に秋の遠足へ出かけました。ご利用者に行きたい場所を伺

うと「文殊なら車酔いせんと行けるかな？」「智恵の餅買いたいなあ。」との声があり、近場ですが外食と智恵寺文殊堂参拝へ行くこととなりました。

ミッフル『山海屋』で、寿司や刺身定食をお腹いっぱい召し上がり大満足。智恵寺では皆さん手慣れた様子で線香に火をつけて煙を頭に寄せ、お参りされました。廻旋橋を渡って遊覧船や景色を眺め、お待ちかねの智恵の餅。…でしたが、昼食でお腹いっぱい皆さんは「食べれそうにないわ・・・。」と。勘七茶屋さんの「厚意で、智恵の餅の試食とお茶をご馳走になり、知恵の餅をお土産に買われました。

丁度おやつの時間に帰ったので、遠足に参加されなかったご利用者にもお土産の知恵の餅をお裾分け。気候も

良く参拝もでき、思いがけずお孫さんへのお土産ガチャポン体験で盛り上がり、楽しい遠足になりました。
(神宮寺)



赤勝て・白勝てエイエイオー



10月のとある日、ショートステイで大運動会を開催しました。

まずは、本格的に、ご利用者からの代表1名と、職員2名による選手宣誓から始まり、運動会の定番パン食い競争では、大きなお口で、夢中でパンを取りに行かれ、普段に増してハッスルされているお姿に、笑声が絶え間なく

起きていました。また物送りゲームでは、チーム対抗という事もあって、思わず熱い声援を送り、ヒートアップする事もありました。

ご利用者に無理のないよう、職員は怪我のないよう、楽しめる事を一番に考えた、ワクワクドキドキの運動会は、赤組白組良く引き分けて、無事、閉幕となりました。いつもより活発で生き生きとした表情のご利用者を見て、職員もたくさんのパワーを頂きました。(ショートステイ)



「RUN伴」たすきを繋いで



「RUN伴」というイベントをご存知でしょうか。認知症の啓発を目的に、2011年より全国的

に開催されている、国内では最大規模の認知症啓発のイベントです。

この丹後地域においても、10月28日に初めて「RUN伴」が開催されました。丹後エリアでは、京丹后市・宮津市・伊根町・与謝野町の4つのコースから、それぞれランナーがたすきを繋げ、天橋立のゴールを目指しました。与謝野町では、旧加悦町にあるやすらの里をスタートし、旧野田川町を経由して岩滝の阿蘇シーサイドパークまで、約16kmの距離を、87名のランナーがたすきを繋ぎ、地域の皆様に「認知症になっても安心して暮らせる町」を目指すべく啓発活動を行いました。

揃いのオレンジのTシャツを着て地域を走っていたので、ご覧になった方もあるかと思えます。虹ヶ丘も総勢18名でチームを組み、与謝野駅から岩滝あじさい苑までの約3km走破いたしました。この活動が少しでも地域



に伝わればと思い、今回の記事とさせていただきます。(相談員)